

1 函館市写真歴史館



明治42年(1909)建造の旧北海道庁函館支庁庁舎で、1階は観光案内所、2階は函館市写真歴史館となっている。コリント式の正面の柱と建物の緑色が、印象的に照らされている。

開館 9:00~19:00(11~3月は17:00)
入場料 大人200円 休 12月31日~1月1日

2 旧イギリス領事館



美しい庭園に囲まれた旧外国公館。大正2年(1913)に建築され、昭和9年(1934)まで領事館として使われた。ライトアップにより白壁と窓枠のブルーが美しさを増している。

開館 9:00~19:00(11~3月は17:00)
入場料 大人300円 休 年末年始

3 旧函館区公会堂



明治40年(1907)の大火で焼失した町会所を再建するため、豪商・相馬哲平をはじめ市民の寄附を得て、明治43年(1910)建設された。建物全体の豪華な造りが、ライトアップにより鮮やかに浮かび上がる。

開館 9:00~19:00(11~3月は17:00)
入場料 大人300円 休 年末年始

4 函館ハリストス正教会



ロシア領事館付属聖堂が前身となる函館ハリストス正教会は、明治40年(1907)の大火で焼失し、大正5年(1916)にレンガ積み漆喰塗りの聖堂が再建された。夜間は、昼間とは違った厳かな雰囲気を出している。

5 函館聖ヨハネ教会



日本の道百選に選ばれた大三坂をさらに上がったチャチャ登り沿いに建つ英国聖公会の教会。白壁に刻まれた十字架と、四方に突き出た茶色の屋根が浮かび上がり印象的。

6 カトリック元町教会



函館ハリストス正教会のすぐ下に建つローマカトリック教会。2度の火事で焼失し、現在の建物は、大正13年(1924)に再々建されたもの。ライトアップにより、格調高いゴシック様式の建物が幻想的に輝く。

7 日本基督教団函館教会

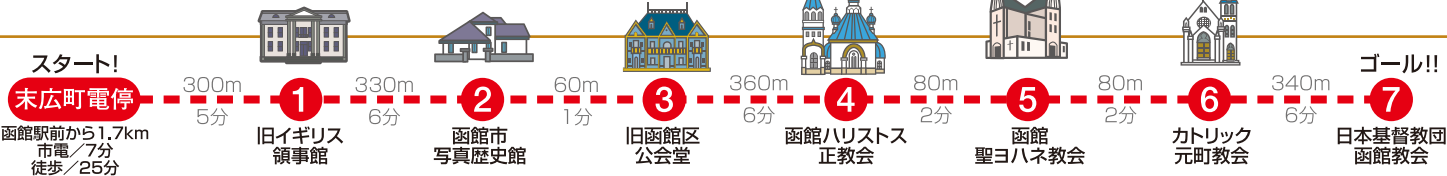


明治6年(1873)12月にアメリカからメソジスト派の宣教師ハリスが来日して函館で伝道したのが始まり。明治10年(1877)に最初のメソジスト派の教会堂が建設された。幾度か火災による被災が続き、現在の建物は昭和5年(1930)に再建。下からのライトアップが建物をより大きく見せている。

ライトアップの点灯はおおむね日没から22時まで行っております。

きらめきのライトアップ 教会編 ~きらめく元町 夜の教会ロマンティックコース~

所要時間 70分 距離 1.6km 消費カロリー 150kcal ※消費カロリーはおおよその目安です。



撮影オススメポイント!!

- その他ライトアップ施設
- ☕ 喫茶・休憩
- 🛍️ おみやげ売店
- 🍴 食事処
- 🚻 トイレ
- ♿ 多目的トイレ
- P 駐車場
- 🚶 元町・ベイエリア周遊バス停

港に浮かぶヨット越しの赤レンガ倉庫群も人気のアングルです。

ベイエリアの象徴的な存在で、三角屋根の赤レンガ倉庫が建ち並んでいます。現在はさまざまなお店がひしめくショッピングモールです。

明治44年に函館郵便局として建てられ、現在はショッピングモールになり手作り体験なども楽しめます。

冬期間は八幡坂とともに、ライトアップされ幻想的な美しさを演出します。

大正12年に、丸井今井百貨店函館支店として建てられました。現在は観光案内のインフォメーションコーナーや、市内近郊のパンフレットコーナーがあり、インターネットでの情報検索も可能な施設です。

石畳が続く坂の上には異国情緒あふれる旧函館区公会堂がみえます。

中華会館は純中国様式の建築として日本に現存する唯一の貴重な建物です。

洋風・和風・和洋折衷の建築物が立ち並び函館らしい通りです。土産店や喫茶店なども立ち並んでいます。